

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	29	学校名	十津川高等学校
----	----	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	第11回十津川高校灯り展
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	木工芸応用を履修する総合学科3年生(10名)において、地域創生の視点に立ち、生徒が主体的に活動する。
連携・協働相手	平谷地区地域交流センター「いこら」
地域と共有している目標・課題等	地域を愛し、地域課題の解決を目指した学習環境をつくり、地域の活性化、地域との連携を通じた自己有用感の醸成。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>十津川村の木材を用いて行灯制作を行い、11月初旬に校内ならびに平谷地区地域交流センター「いこら」で展示会を行った。</p> <p>展示会では生徒が中心となり、来場者への作品説明やアンケートの回答を促し、展示会の運営に貢献した。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>4日間の展示会で約80名の来場があり、生徒は作品説明やアンケート実施に積極的に尽力し、来場者との交流を行った。アンケートでは展示作品への投票欄を作成することで、生徒の作品制作への意欲向上が見られた。また、村内在住者だけでなく観光客の来場もあったことから、県内外問わず本校の取組を発信することができた。</p> <p>来年度も、質の高い作品の制作・展示を通じて広報活動を一層活発に展開し、作品展示を通じた生徒と地域との関わりの増加を目指したい。</p>
--

